

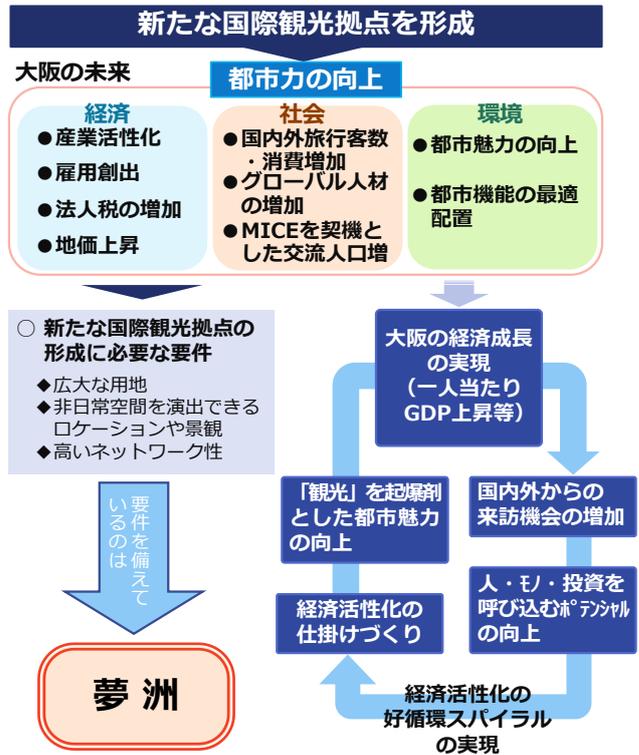
夢洲まちづくり構想（案）
～新たな国際観光拠点の形成に向けて～
（概要版）

夢洲まちづくり構想検討会

平成29年2月6日

01 大阪の現況とめざすべき方向性

- 大阪の成長に向け、世界があこがれる都市を創造し、国内外から人・モノ・投資を呼び込むための取り組みのひとつとして「観光」「集客」に着目する。
- 新たな需要を喚起するためアジア各国・地域の活力を取り込むなど、大阪経済成長の起爆剤となる「新たな国際観光拠点」の形成を図る。
- 新たな国際観光拠点の形成により、大阪の都市力の向上を図り、持続的な経済成長、経済活性化の好循環スパイラルを実現する。
- 新たな国際観光拠点形成のための要件としては、広大な用地や非日常空間を演出できるロケーションや景観などが必要である。
- その要件を満たす「夢洲」において、新たな国際観光拠点を形成するための取り組みを進める。



02 夢洲の現況と位置づけ

1. 臨海部のポテンシャル

- 多様な機能が立地し、埋立地や大規模街区であるという立地特性を活かした先進的な技術実証やその事業化が進められている。
- 物流拠点としても世界につながるゲートウェイとして西日本の一大物流拠点を形成している。
- 都心や周辺都市との高速道路ネットワークが整備されており、交通至便性が高い。
- ユニバーサル・スタジオ・ジャパン® (以下「USJ」という。) や海遊館などの観光資源や野球場やアリーナなどのスポーツ施設が集積している。

各地区のポテンシャル

夢洲

- ・将来的に大規模なまちづくりが可能な用地
- ・オーシャンフロントを活かした非日常空間を創出できる立地

舞洲

- ・充実したスポーツ・レクリエーション空間
- ・物流・環境機能の集積
- ・バスケットボール (大阪エヴェッサ)、野球 (オリックス・バファローズ)、サッカー (セレッソ大阪) といったプロスポーツチームが試合・練習の拠点を設置



出典) port of Osaka 2015/2016

天保山・築港地区・此花西部臨海地区

- ・海遊館、天保山マーケットプレース、USJなどの集客施設が立地し、大阪有数の観光地として、国内外からの観光客が訪れている。
- ・USJと海遊館等は対岸に位置しシャトル船 (約10分) で結ばれている。
- ・天保山では、超大型客船の受け入れが可能。

咲洲

- ・南・東アジアに開かれたビジネス交流・交易拠点の形成をめざす
- ・成長期待の高い環境・新エネルギー・医療・介護など先端技術開発に資する研究開発機能の集積
- ・シーサイドコスモなどみどり豊かなまちなみとチャネルのあるアメニティ豊かなまちなみに宿泊・居住機能が集積

2. 臨海部の課題

- 時代の要請をとらえつつ、臨海部のポテンシャルを最大限に発揮できるまちづくりが必要。
- 臨海部 (特に夢洲まで) のアクセス強化を図り、関西全体の交通ネットワークとの接続が必要。
- 臨海部 (夢洲、咲洲、舞洲、天保山・築港、此花西部臨海地区等) のより一層の機能連携が必要。
- 観光施設及び物流施設のそれぞれが最大限に機能を発揮できるゾーニングや次世代の成長をけん引する機能の導入が必要。

3. 夢洲をめざすべき姿

- 広大な用地の確保ができる夢洲のポテンシャルを最大限に発揮できるまちづくりをめざす。
- 臨海部の各エリアとの連携により、さらなる経済振興・都市魅力向上に資する拠点をめざす。



大阪の成長をけん引する新たな拠点の形成

～新たな国際観光拠点～

- ・将来的に大規模なまちづくりが可能な土地が確保でき、オーシャンフロントの非日常空間を体感できる立地ポテンシャルを活かし、訴求力の高い国際観光拠点を形成し、大阪経済の活性化に寄与する。
- ・臨海部や市内、周辺都市のみならず西日本各地とのネットワークを形成し、拠点形成の効果を広く波及させ、西日本の活性化に寄与する。

大阪の成長を支える既存拠点の充実

～国際物流拠点～

- ・国際コンテナ戦略港湾・大阪港の中心的機能を担う夢洲において、高規格コンテナターミナルと背後の産業、物流関連用地が一体的に機能する国際物流拠点の形成を図り、大阪関西の経済活動や市民生活を支える役割を果たしていく。

適切なゾーニングや都市基盤等の整備

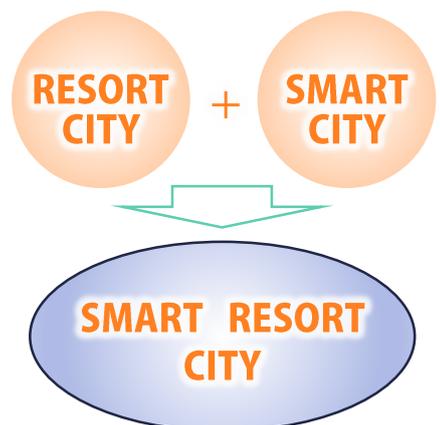
- ・国際観光拠点及び国際物流拠点のそれぞれの機能が最大限に発揮されるゾーニング、交通アクセスの導入、都市空間形成等に取り組む。

4. 国際観光拠点形成の方向性

- 大阪・臨海部のポテンシャル・課題及び夢洲の位置づけから分析を行い、夢洲における国際観光拠点形成の方向性を導き出す。

- 大阪、関西、日本観光の要となる独創性に富む国際的エンターテインメント拠点形成
- 新しいビジネスにつながる技術やノウハウを世界第一級のMICE拠点を中心に夢洲全体をショーケース化し、国内外に発信
- 健康で生き生きと生活をエンジョイできる革新的な技術などの創出と体験
- 大阪・関西の活力と広域的な相乗効果を生み出すネットワーク
- 世界で存在感を発揮するまちづくり
- 確かな技術に支えられたスマートなまちづくり
- 地球・自然環境共生とスマート技術の融合による先進的で快適な環境形成
- アーティスティックなデザイン、上質で快適な空間形成
- 24時間ホスピタリティと安心感に包まれるまちづくり
- 民が主役のまちづくり

コンセプト

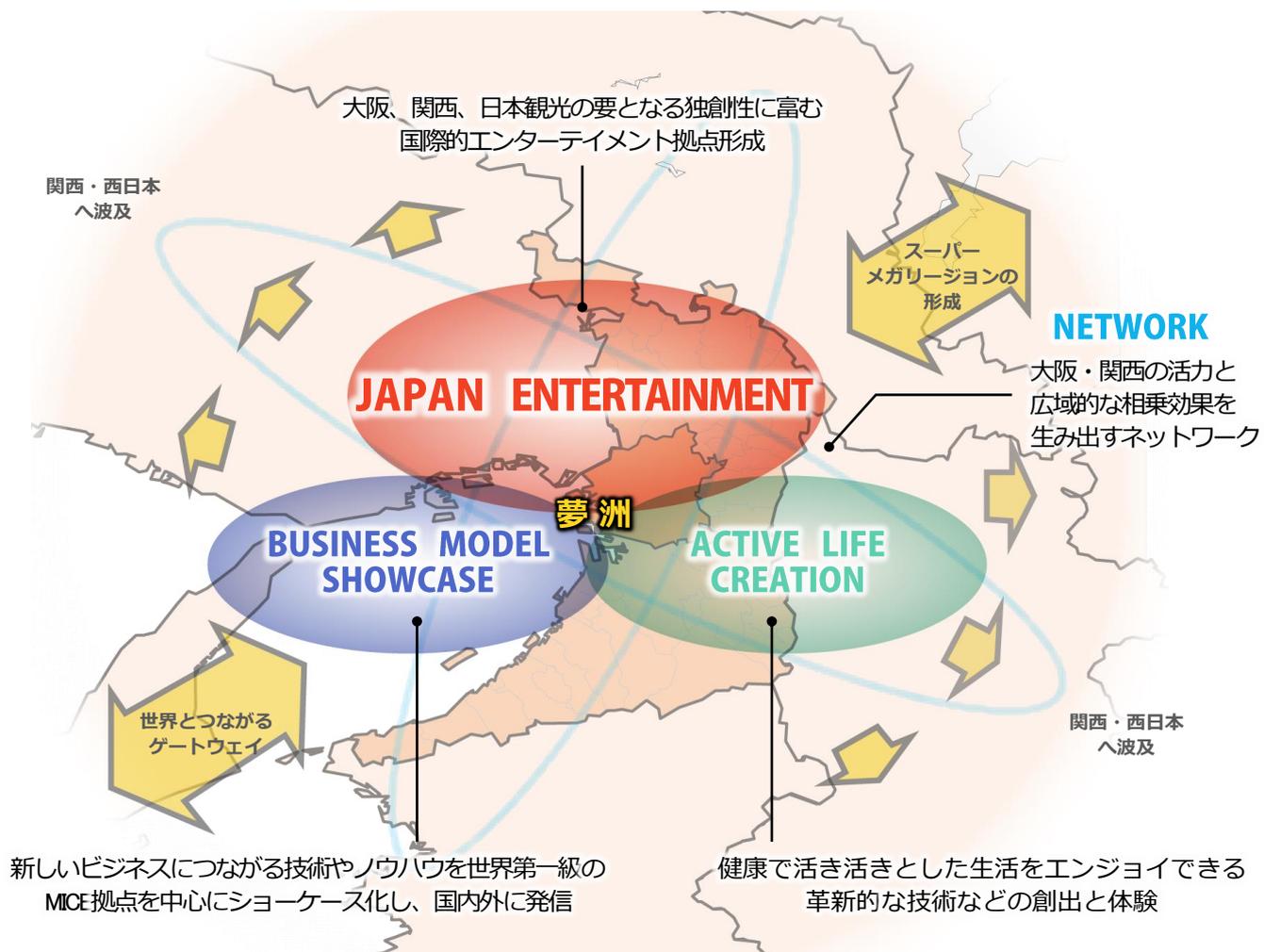


SMART RESORT CITY

【コンセプト】

夢と創造に出会える未来都市

【拠点形成のための都市機能】



【まちづくりの方針】

- 土地利用 ▶ 世界で存在感を発揮するまちづくり
- 都市基盤 ▶ 確かな技術に支えられたスマートなまちづくり
- 環境共生 ▶ 地球・自然環境共生とスマート技術の融合による先進的で快適な環境形成
- 空間デザイン ▶ アーティスティックなデザイン、上質で快適な空間形成

【支えるしくみ】

- 安全・安心 ▶ 24時間ホスピタリティと安心感に包まれるまちづくり
- 運営・育成 ▶ 民が主役のまちづくり

04 拠点形成のための都市機能

JAPAN ENTERTAINMENT

大阪・関西・日本観光の要となる 独創性に富む国際的エンターテインメント拠点形成

- 世界中の人が訪れてみたいとあこがれ、質・規模ともに世界水準である日本・関西らしい文化・芸能に関する施設やコンテンツなど、多彩なエンターテインメントを体験できる国際的エンターテインメント拠点を統合型リゾート(IR)※を中心として形成。
- 周辺の観光集客拠点との連携(回遊性・情報発信等)を図り、臨海部全体で魅力・競争力を大幅強化。

※統合型リゾート(IR)：本構想では、「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律」に定める「カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの」をいう。



図 世界水準の多様なエンターテインメント機能の集積イメージ
出典) <https://www.flickr.com>

BUSINESS MODEL SHOWCASE

新しいビジネスにつながる技術やノウハウを世界第一級のMICE拠点を中心にショーケース化し、国内外に発信

- 統合型リゾート(IR)を核として世界を相手に競争力を持つMICE拠点を形成し、都市力向上・産業振興に資する大規模展示会や国際会議等への対応力を強化。
- 国際観光拠点の集客と最先端技術の実証・実践の取り組みとの相乗効果により、夢洲全体で次の成長産業につながる新たなイノベーションが誘発されるまちをめざす。



図 MICE関連施設や日本最大規模の見本市のイメージ

図 最先端技術のショーケース

出典) ①：日建設計/②③：https://pixabay.com/ja

ACTIVE LIFE CREATION

健康で生き生きとした生活をエンジョイできる 革新的な技術などの創出と体験

- 様々な旅行形態の創出につながる取り組みをはじめ、最先端技術の活用などを図りながら、生活の質(QOL: Quality Of Life)を更に高める技術の創出や質の高い空間・サービスを体験できる滞在環境を2025年の万博開催のムーブメントを活かして推進。

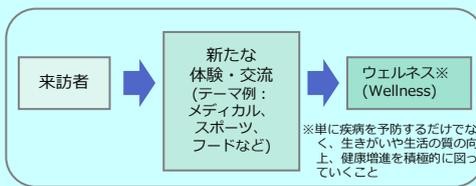


図 生活の質を高める最先端技術の実証・実践、ニューツーリズム効果、多様なニーズに対応する宿泊機能のイメージ

出典) ①②：https://pixabay.com/ja/ ③：日建設計

05 夢洲がつなぐネットワーク

NETWORK

大阪・関西の活力と広域的な相乗効果を生み出すネットワーク

- 新たに国際観光拠点を形成する効果を臨海部～西日本と広く波及させ、関西・西日本全体の活性化につなげる。
- 関西の様々なエリアの魅力ある情報や英知に富んだ技術などを結集。



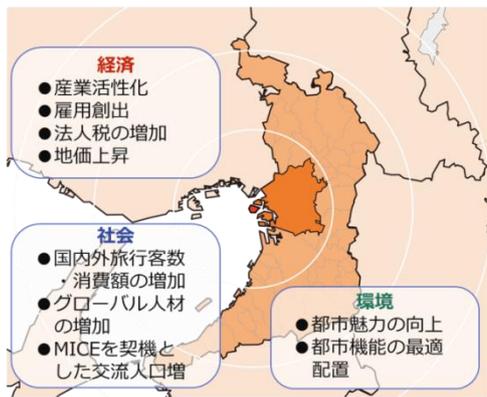
図 都心と臨海部の連携強化による国際競争力の向上



図 瀬戸内との連携イメージ

08 まちづくりの効果

【大阪・関西への効果】



大阪・関西の都市力の向上

【西日本・日本全国・世界への効果】

- 西日本への波及効果
 - ・中国地方、四国地方との観光連携 など
- 日本全国への波及効果
 - ・他地域との産業ネットワーク構築
 - ・インバウンド人口増加による消費拡大 など
- 世界への波及効果
 - ・夢洲、大阪、関西の知名度向上
 - ・投資家による投資機会の拡大
 - ・日本観光における夢洲来訪頻度の増加 など

【参考】大阪市試算による国際観光拠点の建設・運営における経済的効果（想定）

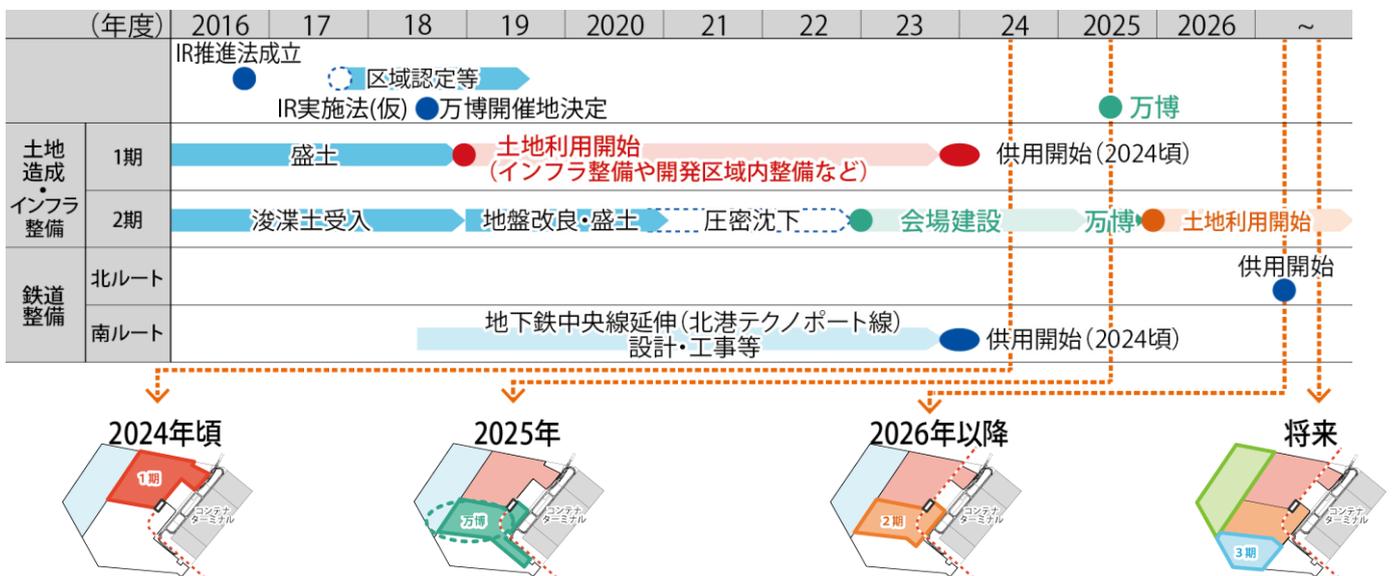
整備時期	1期 (70ha)	～2期(130ha)	～3期(170ha)
集客人口	約1,500万人/年	約2,700万人/年	約3,000万人/年
建設投資額※1	4,300億円	7,350億円	8,240億円
建設投資による経済波及効果※2	7,600億円	13,000億円	14,600億円
雇用創出効果（建設投資）※2	5.1万人	8.8万人	9.8万人
運営による経済波及効果※2	6,900億円/年	9,800億円/年	11,000億円/年
雇用創出効果（運営）※2	8.3万人/年	11.8万人/年	13.2万人/年

※1 建築物の建設費用のみが対象。その他の敷地造成工事、外構工事、設計管理に係る費用及び消費税等は考慮していない。また、公共施設整備は含まない。
 ※2 近畿圏の経済波及効果。雇用創出効果については自営業主、家族従業員含む。

09 実現に向けて

1. 夢洲まちづくりの想定スケジュール

(注) 土地造成の前提条件：1期は早期土地利用を想定、2期は万博が開催される場合を想定



2. 実現に向けて

- 夢洲全体を世界中から人々が集まる魅力ある国際観光拠点として形成するため、第1期の成功で大きな注目を集めることが不可欠であり、統合型リゾート（IR）の成否が大きな鍵を握る。
- 今後、いわゆるIR実施法案の内容等を踏まえつつ、IRや鉄道など主要アクセス等のスキームの検討を進める。
- 一方、広大な夢洲のまちづくりは、長期の段階的整備となるが、夢洲全体で一体性のあるまちを形成することが重要。夢洲全体でのインフラ整備や空間デザイン、まちのマネジメントなど、事業の構築についても、具体的な検討の必要がある。
- さらに、この構想を踏まえて大阪の公・民が丸となって夢洲のまちづくりを推進するための体制などについても併せて検討することが求められる。

【夢洲まちづくり構想検討会】

公益社団法人 関西経済連合会

一般社団法人 関西経済同友会

大阪商工会議所

大阪府

大阪市

(事務局：大阪市経済戦略局)